



# 3年生の思い出

今年卒業する3年生は男子7人、女子9人の計16人です。これからの生活に期待と不安で胸がいっぱいだった入学式からもう3年が経ち、私たちはこの矢島高校を巣立ちます。全員進路が決まり、4月からはそれぞれ新たなスタートを切ります。卒業するまでたくさんのご経験を成長してきた今となっては、入学式の時と変わらぬ気持ちで、それは新しい環境に対する期待と不安で胸がいっぱいだったということです。

2年生から新型コロナウイルスの影響で多くの行事や活動が制限されたり、臨時休業があったりと、私たちが過ごせる時間は限られるようになりました。また、関西に行く予定だった修学旅行も秋田県内と変更になり、心の片隅で「あれが実現していたらいいな」と思っています。ですが実際にどうなるかはわかりません。入学式からもう3年が経ち、私たちはこの矢島高校を巣立ちます。全員進路が決まり、4月からはそれぞれ新たなスタートを切ります。卒業するまでたくさんのご経験を成長してきた今となっては、入学式の時と変わらぬ気持ちで、それは新しい環境に対する期待と不安で胸がいっぱいだったということです。

2年生から新型コロナウイルスの影響で多くの行事や活動が制限されたり、臨時休業があったりと、私たちが過ごせる時間は限られるようになりました。また、関西に行く予定だった修学旅行も秋田県内と変更になり、心の片隅で「あれが実現していたらいいな」と思っています。ですが実際にどうなるかはわかりません。入学式からもう3年が経ち、私たちはこの矢島高校を巣立ちます。全員進路が決まり、4月からはそれぞれ新たなスタートを切ります。卒業するまでたくさんのご経験を成長してきた今となっては、入学式の時と変わらぬ気持ちで、それは新しい環境に対する期待と不安で胸がいっぱいだったということです。

2年生から新型コロナウイルスの影響で多くの行事や活動が制限されたり、臨時休業があったりと、私たちが過ごせる時間は限られるようになりました。また、関西に行く予定だった修学旅行も秋田県内と変更になり、心の片隅で「あれが実現していたらいいな」と思っています。ですが実際にどうなるかはわかりません。入学式からもう3年が経ち、私たちはこの矢島高校を巣立ちます。全員進路が決まり、4月からはそれぞれ新たなスタートを切ります。卒業するまでたくさんのご経験を成長してきた今となっては、入学式の時と変わらぬ気持ちで、それは新しい環境に対する期待と不安で胸がいっぱいだったということです。

2年生から新型コロナウイルスの影響で多くの行事や活動が制限されたり、臨時休業があったりと、私たちが過ごせる時間は限られるようになりました。また、関西に行く予定だった修学旅行も秋田県内と変更になり、心の片隅で「あれが実現していたらいいな」と思っています。ですが実際にどうなるかはわかりません。入学式からもう3年が経ち、私たちはこの矢島高校を巣立ちます。全員進路が決まり、4月からはそれぞれ新たなスタートを切ります。卒業するまでたくさんのご経験を成長してきた今となっては、入学式の時と変わらぬ気持ちで、それは新しい環境に対する期待と不安で胸がいっぱいだったということです。

## 高校生活の思い出BEST3

3年生に高校生活で印象に残っている行事や思い出について調査を実施しました。集計を行い特に票が多かった行事をBEST3としてあげさせていただきます。

### 第一位：修学旅行（70%）

やはり私たちの思い出ナンバー1は修学旅行でした。理由を聞いてみると「コロナ禍で県内だけだったけど、角館でカフェに行ったりアリンを買ったり男鹿のなまほけを見たりで楽しかった」「友達と色んなところに遊びに行っている感じが楽しかった」「先生方の観察もできて楽しかった」「シンブルに楽しかった」という声が上がりました。このように県内でもたくさんの方が楽しんでいることができたので良かったです。

### 第二位：カルタ大会（20%）

思い出ナンバー2は意外なカルタ大会がランクインしました。理由を聞いてみると「3年生の時の力のカルタ大会で例年以上の力が取れ自分だけじゃなくクラスの力も上がったと思っただけから」「3年生の力のカルタ大会で優勝できたから」という声が上がりました。確かに3年生の時のカルタ大会は例年以上に練習ができてきたからという声が多かったです。でも楽しめたことと自分も感じました。最後の最後で優勝できたので第二位という結果になったのでしよう。

### 第三位：学級対抗（10%）

思い出ナンバー3は学級対抗でした。もっと上位だと思っていたので意外な結果になりました。理由を聞いてみると「競技中笑顔であふれていたから」「オセロで全勝できたから」「オセロで優勝できたから」「負けた競技が多かったけど楽しめたから」という声があがりました。体育の時間から各々たくさん練習してきたのですが、楽しめたことと自分も感じました。最後の最後で優勝できたので第二位という結果になったのでしよう。

## 1年生 矢高生になつて

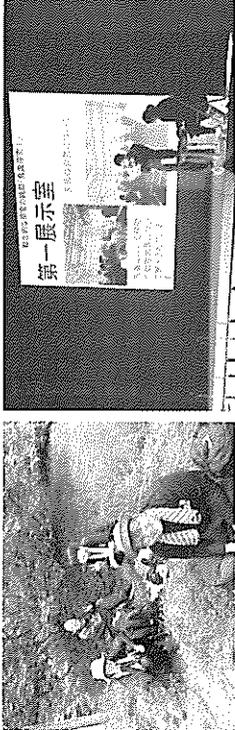
私たち1年生15人の中には矢島中学校出身の人がいないので、矢島地域のことをよく知っている人があまりいませんでした。だから、鳥海探検！で地域の歴史や文化を知るといった時間は、とても新鮮で面白かったです。

1年生で行った行事では、特に印象に残っているものが2つあります。1つ目は7月22日に行われた中高連携鳥海山登山です。1年生の中で頂上まで登った人は2人だけでした。鳥海山登山では普段見ることのできない景色や植物をみることで、貴重な体験ができた上に、とても楽しかったです。

2つ目は10月16日に行われた矢高祭です。1年生はクラスタ企画で、壁新聞や2020東京オリンピックから発想を得たオリジナルピクチャーなどを展示しました。準備期間が短く、とても大変でしたが、みんな協力して準備にあたり、矢高祭当日はみんな有意義に過ごせました。

1年生はみんな仲良く明るく元気なクラスです。元気が良すぎるときもありません。行事の際にはしっかりとできる人ばかりです。春から2年生になり、3年生と力を合わせて、新入生を引っ張っていかねければいけないので、15人みんな協力し合ってこれからの高校生活を過ごしていきたいです。

(1A 畑澤伊緒菜)



## 2年生 地元の魅力再発見

2年生になってから1年間、課外活動やボランティア活動を通じて、地域のぬくもりや良さ、相手への態度、自分の個性を磨く事などたくさん学ぶことができて、充実感を得られたと思います。たくさん学んだ中から特に印象に残った事が2つあります。

1つ目は矢高祭で披露した「坂之下音楽」についてです。4月から10月までの鳥海探検Ⅱの時間に、卒業した先輩方が踊っているビデオを見て練習しました。最初は、杖とうちわを使って先生方の手本を見ながら見よう見まねでやっていました。回数を重ねるごとに動きに大きな起伏や抑揚、昔の人のように踊るポイントなどが分かるようになってきました。本番では、緊張してしまいましたが、練習してきたものを発揮して踊り、無事に成功することができました。

2つ目は修学旅行です。関西旅行を予定していましたが、コロナ禍の影響で秋田県内1泊2日の旅行になりました。私自身が秋田の良さを知らなかったのも、「秋田の魅力を知る」という目標を立てて出発しました。特に印象深かったのが角館です。角館は武家屋敷が立ち並び、黒板塀に映える立派なイチョウが綺麗でした。武器や甲冑（かっちゅう）、さらには、解体新書などがあり、まるで江戸時代にタイムスリップしたようでした。一方で新しい名物もあり、「あきたみちのくプリン亭」の「雪見杏仁プリン」は絶品でした。プリン好きにはたまらないおいしさです。機会があったらまた行きたいです。

コロナ禍で休校になり、友達に会えないこともありました。仲間と楽しく笑って騒ぐこともあったし、一丸となって行動することは楽しかったです。残りの高校生活も最高の仲間たちと有意義なものにし、それぞれの進路に向かって歩いていきたいと思っています。今まで学んできたものを生かしてこれから頑張りますので、応援よろしくお願いします。

(2A 佐藤香奈)

# 「身近な防災」を考えよう！～矢高編～

今年度着任した佐藤幸嗣事務長は、県内各地で防災についての講演を行う防災士としての顔も持っています！校内の避難訓練でもお話しくださいました。矢高新聞では「紙上演習会」を開催します。

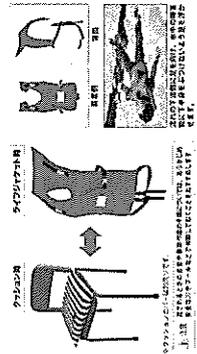
5年ほど前から、学校の事務長をしながら、秋田県総合防災課委員の「秋田県自主防災アドバイザー」として活動しており、県内各地の自治会や各種団体などの防災学習や研修会にて、お話をさせて頂いています。今回は、その内容の中から「地域環境で十人十色」との旨様にご紹介したいと思います。学校の授業（！？）とは違い、地域の高齢者や子供達向けに話をしている内容ですので、気軽にお読みください。

皆さん！防災には関心があるが、あまりに様々な情報が多く、何を準備すればよいのか？何をどうすればよいのか？結局よく分からず、何もしてない！っていう方、多いですね。地域防災（または自主防災）は、「家庭環境で十人十色」「地域環境で十人十色」と言われ、様々な情報や提案を参考にし、各家庭・各地域の事情にあわせて、「足し算」や「引き算」を考えていたいただきたいのです。

では、災害に備えて「自分の命と生活は、自分で守る」ためには、どんな準備やどんな行動をするのか？そのための準備ということ、私のおすすめ防災用品とおすすすめ準備をご紹介します。

## おすすすめ防災用品のひとつ・・・

浮力補助胸衣（いわゆるライフジャケット）。こちらは、普段、クッションとして使用でき、必要時には、頭からかぶり留め具で簡単に体に着定できます。アウトドアメーカーが、東日本大震災を期に開発されたもので、税込5,300円程度です。水着の際、着用することで、足元をすくわれ流されたとしても、浮力補助胸衣が、おすすすめです。こちらは、特に高齢者や幼明などに、おすすすめです。（※写真は、モンベル公式HPから）



## おすすすめ防災準備のひとつ・・・

非常用保存食（アルファ化米）を野菜ジュースで作って食べてみよう。えへ、と一般に販売されている非常用保存食（レトルトパックなど）に入っているアルファ化米は、お湯だけでよく、水で戻して食べることもできます。そのアレンジとして、紙パックなどの野菜ジュースを入れて約60分程度で戻して、食べてみます。災害時に、水が無くとも手軽に調理でき、不足しがちな野菜が摂取でき、そして味に深みが出ておいしいのです。ぜひ、ご家族で試してみてください。特に小さな子供さんは喜びますね。個人的には、これに粉チーズを振りかけると、より一層美味しく頂けますね。（※写真は、尾西公式HPから）



他にもいろいろとご紹介（お話し）したい内容がありますが、スペースの関係で、これくらいに・・・。

## 最後に、ひとつご紹介・・・

昨年（2021年）の5月19日に、ABS秋田放送で夕方放送されている番組「えびステ」の「たけもとチャンネル」防災編というコーナーで紹介されました。私も、ちょっぴり映ってますが、興味があれば、ABS秋田放送公式HPにある「あきた未来くるチャンネル」に動画がありますので、ご覧ください！！

【参照】https://www.akita-abs.co.jp/miraclechannel/miraclechannel-35756/

